

会社案内：合同会社 日本近自然学研究所

～ 経済と環境の両立を「建前」ではなく「本気」で考える ～

森林・林業教育を支援します

企業林の管理経営の経験から、豊かな森林を後の世代に引き継ぐためには現場教育が重要であるということに行き着きました。全国に林業系の大学校や専修学校が次々と開校していることは、その考えが間違っていなかったことを確信させるのに十分でした。

しかし、環境意識の高まる時代において、そのニーズに答えるための林業教育の体系化は、まだまだ発展途上です。私たちは十数年におよぶスイス林業のリサーチと試行錯誤から、彼らが行っている近自然森づくり※の考え方、および高等職業訓練（フォレスト教育）を日本向けにアレンジしたプログラムを提供しています。

森づくりの目標をどのように設定すればよいのか、目標に対してどの選木方法を選択すればよいのか、施業の際の現場のマネジメントの注意点や工夫といった戦略づくりから詳細な技術まで、総合的なスキルアップが可能です。組織や地域の状況に応じた柔軟な支援をモットーとしております。

こんなことができます

- ・ 森づくりと人材育成の戦略づくり（地方自治体、企業林など）
- ・ 林業現場の職業訓練（特に選木と労働安全のマネジメント）
- ・ 森林・林業に関わる研修会等のコーディネート
- ・ 市民向けの森林・林業講座
- ・ 地域が行う森林環境教育の支援
- ・ 諮問機関・委員会等の事務局支援
- ・ 海外林業視察コーディネート（スイス）

※近自然森づくりとは

画一的な針葉樹単層林の森づくりへの反省として、1950年代に中部ヨーロッパで勃興したとされる森づくりの考え方。少ない介入で管理目的を達成することを追求し、非皆伐・多層・天然下種更新・適地適木を基本原則とする。スイス、ドイツ、オーストリアが先進地で、スロベニアに本部を置く「Pro Silva」が国際的な普及組織として活動している（加盟国 26 カ国）。

近自然学の普及

近自然学は、スイス在住の山脇正俊氏により 2004 年に提唱されました。地下資源もなく、大国に囲まれた内陸国がいかにして現在の豊かな地位(一人当たり GDP ランキング上位国)を築き、そして維持しているのか。その「生き延びの知恵」に学ぼうというものです。

環境と豊かさは両立できる、その解決策はかならずあるはずだ(それができなければ私たちは持続しない)と考えると、スイスの人々の行動原理・原理原則が見えてきます。

【近自然の原則の一例】

- ・ パーツ思考からシステム思考へ
- ・ フォアキャストからバックキャストへ
- ・ ホールディングからシェアリングへ
- ・ 量から質へ（量は質の要素のひとつになる）
- ・ 負荷は集中、対策は分散
- ・ 気持ちよさ（五感＋心）を大事にしよう
- ・ 対立思考から両立思考へ

近自然学を学ぶことで、1つのことを多角的な視点から見るできるようになります。これは現在では「教養」とよばれるもののひとつで、即効性よりも様々な課題解決のための体質改善の効果が期待できます。近自然学の考え方は日本でも関心を呼び、例えば国交省の「多自然川づくり」の導入に繋がった例があります。

こんなことができます

- ・ 経営体や組織の根本的な体質改善のアドバイス
- ・ プロジェクト支援（システム思考とバックキャストの訓練）
- ・ 組織に必要なコミュニケーションの訓練
- ・ 企業向け森林環境教育プログラム（森に学ぶ経営学）
- ・ 近自然学の川づくり・まちづくり・企業経営への応用

会社概要（2025 年 8 月 9 日現在）

- ・ 商号：合同会社日本近自然学研究所
 - ・ 設立：2025 年 4 月 2 日
 - ・ 資本金：100 万円
 - ・ 所在地：〒634-0064 奈良県橿原市見瀬町 586-1-501
※2025 年 8 月 1 日に奈良県十津川村より移転
 - ・ 代表者：代表社員 佐藤浩行
 - ・ 事業内容：森林・林業コンサルタント、林業大学校・研修会等講師、近自然学講師・コンサルタント、諮問委員会事務局支援、森林環境教育支援など
 - ・ WEB サイト：<https://www.kinshizenforestry.com/>
 - ・ お問い合わせ先：<https://www.kinshizenforestry.com/contact>
-

受注実績（代表前職時を含む）

- ・ 公共機関：北海道池田町、北海道下川町、岐阜県、奈良県、奈良県フォレスターアカデミー、奈良県十津川村、奈良県川上村、京都市、島根県津和野町、高知県本山町、沖縄県
 - ・ 民間企業等・諸団体：社有林保有企業、森林組合、森林ボランティア団体など多数
 - ・ 業界誌等への寄稿・書評多数
-

代表略歴

- ・ 代表社員 佐藤浩行：1971 年仙台市生まれ
- ・ 岩手大学農学部林学科卒（森林防災工学専攻）
- ・ 治山・砂防技師：財団法人林業土木コンサルタンツ（1999～2005 年）
- ・ 社有林経営：株式会社総合農林（2005 年～2024 年）※2011 年より代表取締役
- ・ スイス林業研究（2010 年～）、2013 年にフォレスター養成校から実習生受け入れ
- ・ 海外事業：株式会社総合農林ラオス（2013 年～2018 年）薬用植物調達、人材育成事業など
- ・ 普及活動：NPO 法人近自然森づくり協会 理事（2014 年～）
- ・ コンサルティング・講師活動：社有林経営およびスイス林業研究の経験を生かし、2011 年から地方自治体や企業等からの業務受託や講師活動を開始、2024 年 7 月にフリーランスとして独立、2025 年 4 月にコンサルタント会社として合同会社日本近自然学研究所を設立